

～教員インタビュー（神津島編②）～

神津島村立神津中学校 教諭

1 島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

約10年前に神津高校で講師をしていました。その時は学期の途中で島を出ることになり、お世話になった方々にお別れを言うこともままならず、心残りでした。正規教員として公募を受けられると聞き、挑戦してみようと思いました。

2 児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

一人一人の生徒に時間をかけてコミュニケーションがとれると感じています。修学旅行の体験学習などは、人数制限があるものも全員が体験できるのではないかと可能性の無限大さを感じています。生徒の得意を伸ばして、違う教科やジャンルでも切磋琢磨できる環境を整えたいです。

3 島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

学校の近さ、生徒との近さ、保護者との近さなど、とにかく全てが近いです。外食先が保護者の経営するお店だったり、学校公開に卒業生が来たり、和気あいあいとしています。村のバレーボール大会に教員チームで参加して小学校チームには絶対勝ちたいという気持ちになることも、なかなか内地ではできない経験です。

4 仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

島の方々がたくさん話しかけてくれます。登校中に小学生が話しかけてきたり、スーパーで知らない女性に「鞆が可愛い！」と褒められたり、とても嬉しくなりました。また、通販で購入したものが意外と早く届きます。

5 島だからできたことがあれば教えてください。

美術・写真部では海に行って夕日の写真を撮影したり、農協の看板や港の壁画を描いたり、地域と関わる活動ができました。四島大会といった他の島と一緒にやる陸上記録会は、他の島の生徒と交流できたり普段は乗れない船に乗れたりしました。

6 日常生活での買い物はどうしていますか。

島にある商店やスーパーで買い物しています。島の中でお金を回して島の経済を活性化させたいので、野菜は農協、お酒は酒屋など、できる範囲でいろいろなお店で買っています。どうしても手に入らないものは Amazon も利用しています。

7 休日は、何をして過ごしていますか？

島のフラダンスサークルに入会して、フラダンスを習っています。他には、温泉に行ったり、浜で歌ったり、山に明日葉を摘みに行ったり、図書館に本を借りに行ったり、母や友人宛の葉書や手紙を書いたり、絵を描いたりしています。

8 島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

4月1日から3日までの船が欠航して、なかなか赴任できなかったこと。同僚の先生たちが学校でもご飯の会でも、いつもにこにこ笑っていること。生徒たちが自らよく動くこと。

9 島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

ずっと穏やかな心でいられることと、勤務時間内に授業準備がたくさんできること。今までは、勤務時間内は授業して放課後に部活をやって、生徒が帰ってから授業準備をしていましたが、クラス数が少ないので勤務時間内に授業準備ができます。

10 島への赴任を検討している方に一言お願いします。

赴任した後、管理職から「やわらかい雰囲気が島の生徒に合ってる」と言われ、来てよかったなと思いました。実際の学校には、元気な先生、厳しい先生、まじめな先生など、さまざまな先生がいます。あなたの個性をのびのび生かせるチャンス。ぜひ島にチャレンジしてみてください。